

平成25年6月12日

平成24年度

## 決 算 書

### 資料目次

	ページ
I 収支決算書	
① 事業概況の報告	1・2
② 正味財産増減計算書・正味財産増減計算内訳書	3～5
③ 貸借対照表・貸借対照内訳表	6・7
④ 財産目録及び貸借対照表に対する注記、附属明細書	8・9
II 事業報告書	
① 事業報告書	10～13
② 物品預託と払い出しの報告書	14
③ ボランティア奉仕の報告書	15

公益社団法人 熊本善意銀行

## 〔はじめに〕

平成24年度は、熊本善意銀行が昨年4月1日に「社団法人」から「公益社団法人」へ移行して再スタートした年でした。今期は、「公益法人」初年度のため、積極的に新聞・ラジオ・ホームページで善意銀行のしくみや助成金申請方法、公益目的事業、寄付金優遇税制などのPR活動を行いました。社会福祉事業の支援活動では、児童養護施設・身体障がい者施設・老人福祉施設など、多数の申請に対し助成を行いました。さらに、創立50周年記念事業の事前準備で記念誌の取材やホームページを活用したボランティア活動システムの構築などに取り組みました。

災害では、7月に阿蘇地方が記録的な豪雨で阿蘇市や熊本市に大きな水害をもたらしました。その中で被災地の復興支援は、自治体以外にも多数のボランティアの個人・団体が手助けをしました。当行は、東日本大震災と同様に熊本日日新聞社と熊本放送の3社で救援金を募り、その8,600万円は全て熊本県に預託しました。被災されました方々の皆様には、心よりお悔やみ申し上げますとともに一日も早い復興をお祈り申し上げます。

## 〔事業概況の報告〕

県内経済は、阿蘇地方の水害などもあって低迷しましたが、熊本市の政令都市誕生による熊本城マラソンなど各種イベントや、年末は衆院選で民主党から自民党を中心とした連立政権に交代し、株価の回復など明るい兆しが見えてきました。寄附金については、一昨年の東日本大震災以来その窓口が拡大してきました。従来は新聞社・テレビ局・公共機関以外に、震災後は一般企業・コンビニ・娯楽場などあらゆる企業、団体が募金活動を行いました。その影響もあって、寄附金に依存していた福祉団体等は、募金が低調となり、事業運営に支障が出たところもあります。

平成24年度の収支面は、正会員の会費収入が微減となりましたが、預託金は、年度当初の5月に高額な香典返しを始め、年間を通して善意の預託が集まり、最終的には予算額を超える金額となりました。助成金等の払出しは、予算同額程度となりました。今期からの会計処理は、公益法人会計基準に移行しました。正会員の会費収入は、公益目的事業会計と法人会計に折半しました。また、管理費は分配基準に従い公益目的事業会計と法人会計に配分しました。収支表は正味財産増減計算書（一般企業の損益計算書）にしました。

今後は公益法人としての自覚を持ち、県民の「こころの架け橋」として社会福祉事業に取り組み“地域密着”の助成及び支援活動を行います。

本年度に行った公益目的事業等は、以下の通りであります。

## 《公益目的事業会計》

公益目的事業会計は、県民を中心とした多くの方々から寄せられた「善意の預託」の受け入れに加え、今期から正会員の会費収入50%を受け入れました。払い出しは、管理費を法人会計と配分しました。以下、一般正味財産増減の状況についてご報告します。

(1) 経常収益は、受取寄附金以外に新たに受取会費が増加し、総額は2,073万円となりました。

(2) 経常費用は、管理費1,131万円と事業費1,430万円で合計2,561万円となりました。経常費用は「収支相償＝費用は収入と同額かそれ以上とする」と「公益目的事業比率＝経常費用計の50%以上とする」の公益認定基準を順守しました。その結果、当期経常増減額は487万円の赤字となりました。

当年度は、従来「100歳到達者へ記念品」「小中学校へ車イス」「災害被災者への見舞金」など物品や助成金の支援を行いました。その他、ひとり親家庭の小学校入学祝い・交通遺児の中学校卒業祝い・施設児童の高校進学祝いなど児童へ記念品の贈呈を行いました。費用では、ボランティア活動システムのソフトを購入しました。

## 《法人会計》

法人会計は、会員の皆さまからの会費収入で支えられております。前記に記載の通り、会費収入の50%と管理費の比例配分を公益目的事業会計に移し、収支は大幅に減少しました。

(1) 経常収益は、受取会費が半減し839万円となりました。

(1) 経常費用は、管理費を公益目的事業会計に配分し561万円と減少しました。当期経常増減額は278万円となりました。これに前期繰越額を加算した次期繰越額は1,718万円となりました。これは「遊休財産額＝公益目的事業費用を超えない額とする」という公益認定基準に適合しております。

費用では、50周年記念誌の手付金などを支払いました。

正味財産増減計算書

平成 24 年 4 月 1 日 から 平成 25 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

勘定科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	16,790,000		
正会員受取会費	16,790,000		
受取寄付金	12,338,983		
受取寄付金	12,338,983		
雑収益	5,380		
受取利息	5,380		
経常収益計	29,134,363		
(2) 経常費用			
事業費	25,614,694		
給料手当	5,425,966		
臨時雇用賃金	803,440		
福利厚生費	1,205,422		
役員報酬	298,800		
旅費交通費	550,689		
通信運搬費	579,559		
消耗品費	870,566		
印刷製本費	224,891		
賃借料	847,359		
支払助成金	3,693,545		
チケット購入費	720,000		
記念品購入費	2,603,580		
新聞代・送料	1,488,008		
会報発行費	505,470		
車いす購入費	896,000		
毛布購入費	1,123,500		
広告宣伝費	2,810,591		
減価償却費	544,857		
雑費	422,451		
管理費	5,618,194		
役員報酬	61,200		
給料手当	1,111,344		
臨時雇用賃金	164,560		
福利厚生費	246,893		
旅費交通費	112,989		
通信運搬費	118,704		
消耗品費	89,060		
印刷製本費	2,046,062		
広告宣伝費	564,909		
賃借料	173,556		
会報発行費	103,530		
減価償却費	106,149		
雑費	719,238		
経常費用計	31,232,888		
当期経常増減額	-2,098,525		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0		
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0		
当期経常外増減額	0		
当期一般正味財産増減額	-2,098,525		
一般正味財産増減額	-2,098,525		
一般正味財産期首残高	23,128,700		
一般正味財産期末残高	21,030,175		
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0		
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産期首残高	0		
指定正味財産期末残高	0		
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	21,030,175		

(注) 公益社団法人移行年度につき、前年度欄及び増減欄については記載していない。

正味財産増減計算書内訳表

平成 24 年 4 月 1 日 から 平成 25 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

勘定科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	8,395,000	8,395,000	0	16,790,000
正会員受取会費	8,395,000	8,395,000	0	16,790,000
受取寄付金	12,338,983	0	0	12,338,983
受取寄付金	12,338,983	0	0	12,338,983
雑収益	1,814	3,566	0	5,380
受取利息	1,814	3,566	0	5,380
経常収益計	20,735,797	8,398,566	0	29,134,363
(2) 経常費用				
事業費	25,614,694	0	0	25,614,694
給料手当	5,425,966	0	0	5,425,966
臨時雇用賃金	803,440	0	0	803,440
福利厚生費	1,205,422	0	0	1,205,422
役員報酬	298,800	0	0	298,800
旅費交通費	550,689	0	0	550,689
通信運搬費	579,559	0	0	579,559
消耗品費	870,566	0	0	870,566
印刷製本費	224,891	0	0	224,891
賃借料	847,359	0	0	847,359
支払助成金	3,693,545	0	0	3,693,545
チケット購入費	720,000	0	0	720,000
記念品購入費	2,603,580	0	0	2,603,580
新聞代・送料	1,488,008	0	0	1,488,008
会報発行費	505,470	0	0	505,470
車いす購入費	896,000	0	0	896,000
毛布購入費	1,123,500	0	0	1,123,500
広告宣伝費	2,810,591	0	0	2,810,591
減価償却費	544,857	0	0	544,857
雑費	422,451	0	0	422,451
管理費	0	5,618,194	0	5,618,194
役員報酬	0	61,200	0	61,200
給料手当	0	1,111,344	0	1,111,344
臨時雇用賃金	0	164,560	0	164,560
福利厚生費	0	246,893	0	246,893
旅費交通費	0	112,989	0	112,989
通信運搬費	0	118,704	0	118,704
消耗品費	0	89,060	0	89,060
印刷製本費	0	2,046,062	0	2,046,062
広告宣伝費	0	564,909	0	564,909
賃借料	0	173,556	0	173,556
会報発行費	0	103,530	0	103,530
減価償却費	0	106,149	0	106,149
雑費	0	719,238	0	719,238

勘定科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
経常費用計	25,614,694	5,618,194	0	31,232,888
当期経常増減額	-4,878,897	2,780,372	0	-2,098,525
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-4,878,897	2,780,372	0	-2,098,525
一般正味財産期首残高	-	-	0	23,128,700
一般正味財産期末残高	-	-	0	21,030,175
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高				
正味財産期末残高	-	-	0	21,030,175

## 貸借対照表

平成 25 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	18,198,536	21,334,953	-3,136,417
未収金	1,526,941	0	1,526,941
流動資産合計	19,725,477	21,334,953	-1,609,476
2. 固定資産			
(3) その他固定資産			
建物付属設備	991,454	1,190,220	-198,766
ソフトウェア	2,817,144	1,673,384	1,143,760
その他の固定資産合計	3,808,598	2,863,604	944,994
固定資産合計	3,808,598	2,863,604	944,994
資産合計	23,534,075	24,198,557	-664,482
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	1,764,933	503,285	1,261,648
預り金	88,967	174,072	-85,105
賞与引当金	629,000	311,500	317,500
未払法人税等	21,000	81,000	-60,000
流動負債合計	2,503,900	1,069,857	1,434,043
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,503,900	1,069,857	1,434,043
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄附金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当分)	0	0	0
(うち特定財産への充当分)	0	0	0
2. 一般正味財産	21,030,175	23,128,700	-2,098,525
(うち基本財産への充当分)	0	0	0
(うち特定財産への充当分)	0	0	0
正味財産合計	21,030,175	23,128,700	-2,098,525
負債及び正味財産合計	23,534,075	24,198,557	-664,482

貸借対照表内訳表

平成 25 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

勘定科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	1,957,138	16,241,398	0	18,198,536
未収金	0	1,526,941	0	1,526,941
流動資産合計	1,957,138	17,768,339	0	19,725,477
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
(2) 特定資産				
(3) その他固定資産				
建物附属設備	817,820	173,634	0	991,454
ソフトウェア	2,597,876	219,268	0	2,817,144
その他の固定資産合計	3,415,696	392,902	0	3,808,598
固定資産合計	3,415,696	392,902	0	3,808,598
資産合計	5,372,834	18,161,241	0	23,534,075
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	1,526,941	237,992	0	1,764,933
預り金	0	88,967	0	88,967
賞与引当金	0	629,000	0	629,000
未払法人税等	0	21,000	0	21,000
流動負債合計	1,526,941	976,959	0	2,503,900
2. 固定負債				
固定負債合計	0	0	0	0
負債合計	1,526,941	976,959	0	2,503,900
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
寄附金	0	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	0
(うち特定財産への充当額)	0	0	0	0
2. 一般正味財産	3,845,893	17,184,282	0	21,030,175
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	0
(うち特定財産への充当額)	0	0	0	0
正味財産合計	3,845,893	17,184,282	0	21,030,175
負債及び正味財産合計	5,372,834	18,161,241	0	23,534,075



## 財産目録

平成 25 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
現金	手元保管	運転資金 (公益)	44,000
		運転資金 (法人)	138,597
預金	普通預金		
	肥後銀行水道町支店	運転資金 (公益)	1,864,511
	肥後銀行水道町支店	運転資金 (法人)	13,296,564
	熊本ファミリー銀行下通町支店	運転資金 (公益)	84
	熊本ファミリー銀行下通町支店	運転資金 (法人)	2,806,237
	郵便振替	運転資金 (公益)	37,951
	肥後銀行水道町支店募金箱口座	運転資金 (公益)	10,592
未収金		公益事業管理費未収金分	1,526,941
<b>流動資産合計</b>			<b>19,725,477</b>
<b>(固定資産)</b>			
基本資産			0
特定資産			0
その他固定資産			
建物付属設備	当行	帳簿等保管 (公益目的保有財産)	817,820
		帳簿等保管 (法人会計)	173,634
ソフトウェア		会計ソフト (公益目的保有財産)	1,028,476
		会計ソフト (法人会計)	219,268
ソフトウェア		ボランティア登録 (公益目的保有財産)	1,569,400
<b>固定資産合計</b>			<b>3,808,598</b>
<b>資産合計</b>			<b>23,534,075</b>
<b>(流動負債)</b>			
未払金		法人会計への支払分、送料・通信料・社会保険料等	1,764,933
預り金		社会保険料 (個人負担分)	88,967
賞与引当金		従業員1名に対する賞与支払いに備えたもの	629,000
未払法人税等		H24年度県民税	21,000
<b>流動負債合計</b>			<b>2,503,900</b>
<b>(固定負債)</b>			
<b>固定負債合計</b>			<b>0</b>
<b>負債合計</b>			<b>2,503,900</b>
<b>正味財産</b>			<b>21,030,175</b>

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産は定率法、無形固定資産は定額法。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

#### (3) 引当金の計上基準

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

該当なし。

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

該当なし。

### 4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	1,449,000	457,546	991,454
ソフトウェア(会計ソフト)	2,128,200	880,456	1,247,744
ソフトウェア(ボランティア登録)	1,596,000	26,600	1,569,400
合計	5,173,200	1,364,602	3,808,598

### 5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

該当なし。

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

該当なし。

### 2. 引当金の明細

該当なし。

# 平成24年度事業報告

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

平成24年度は、熊本善意銀行が「社団法人」から「公益社団法人」として公の認可を受け、再スタートした年でした。当行は、公益社団法人としての自覚を再認識し、社会福祉事業に取り組みました。広報面では、事業の活発化と公平性を保つために、新聞とラジオのほかホームページをより充実させ、啓発活動に力を入れました。その結果、当行の公益法人化や業務の内容の周知が出来、また、CMに対する評価の声も多数いただきました。

熊本善意銀行は、温かい心をもって地域に根差した福祉事業に取り組み（1）障がい者や児童福祉、被災者援助、福祉活動支援グループなどへの助成、（2）百歳を迎えたお年寄りやひとり親家庭の子どもへの入学祝い、学校への車いす寄贈などの物品助成、（3）登録ボランティア団体の活動の橋渡し、といった中核事業を推進しました。さらに、創立50周年を迎え、その企画事業の準備にも取り組みました。災害面では、7月に発生した阿蘇地方の集中豪雨に対して、東日本大震災と同様に救援金を募り、その全額を熊本県に預託しました。

## 1、[公益目的事業]

地域社会が直面する問題の改善を目的として事業を行う団体・個人に金銭助成や物品支援を行いました。

「事業内容」	「備考」
<p><b>金銭助成</b></p> <p><b>① 障がい者福祉助成</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>九州視覚障がい者グラウンドソフトボール大会へ助成</li><li>日本ダウン症児熊本支部夏季療育キャンプに助成</li><li>熊本あゆみの家夏季療育キャンプへ助成</li><li>熊本市障がい者大運動会へ助成。</li><li>県点字図書館へUSBスティック贈呈</li><li>県重度障がい児クリスマス交流会へ助成。</li><li>上記以外に障がい者福祉関係のスポーツ大会・音楽祭など12件助成</li></ul> <p><b>② 児童福祉助成</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>県内16児童施設夏季行事に助成</li><li>県母子寡婦福祉連合会「母と子の運動会」に助成。</li><li>熊本少年友の会に助成金。</li></ul>	<p>熊本大会</p> <p>64本</p> <p>約700名</p>

<p>③ 災害見舞い金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災見舞い（35件）に見舞金。</li> <li>・「7・12 県北豪雨災害」救援金として助成</li> </ul> <p>④ 各種団体の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ボランティア6団体へ助成金。</li> <li>・その他支援とその他申請のあった地域福祉団体へ助成。</li> </ul>	
---	--

<p>物品助成</p> <p>① チケット等配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の身体障がい者支援施設などで日常生活をされている方々に、心のゆとりを持ってもらうことを願い、演劇の入場券を贈呈しました</li> </ul> <p>② 敬老の日「百歳到達者」に記念品を贈呈（第32回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老の日「百歳到達者」に記念品を贈り、長寿をお祝いした。併せて千代の園酒造預託の清酒「百歳万歳」も贈った。本年の対象者は539名。記念品の配送は、熊日輸送センター・熊日販売センターの協力を得て敬老の日前後に自宅または老人施設などへ配りました。</li> </ul> <p>③ 郷土紙送料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本県出身の青年海外協力隊へ郷土紙を送った。（通年）熊本県青年海外協力隊の要請により、世界各地の発展途上国で農業指導や技術支援を行っている熊本県出身の隊員たちに、激励の気持ちを込めて郷土紙を送りました。</li> </ul> <p>④ 車いす贈呈</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度は、荒尾・玉名地区の小中学校へ車いす28台を贈った。贈呈式は、11月14日に玉名振興局で行いました。近年、障がいを持つ児童の中には普通学校への就学を希望する児童が増えおり、障がいを持たない子どもの総合学習での車椅子体験にも使用されました。</li> </ul>	<p>約22施設</p> <p>20～31名 送料を含む</p> <p>小・中校に 計28台</p>
--	--

<p>⑤ 表彰・お祝い記念品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子家庭の新一年生に学用品セットを贈呈</li> <li>・施設児童の高校・専門学校進学祝い。（記念品贈呈）</li> <li>・交通遺児の中学卒業祝い。（同 贈呈）</li> <li>・預託者、ボランティア団体、会員へ（感謝状贈呈）</li> </ul> <p>⑥ 毛布・タオル贈呈</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県下の被災者へお見舞いとして毛布を贈呈。</li> <li>・障がい者スポーツ大会の参加賞としてタオル約 1,000 枚を贈呈。</li> </ul>	<p>115 名</p> <p>72 名</p> <p>21 名</p>
---	--------------------------------------

<p>広報宣伝</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民、団体、企業の社会貢献活動を啓発、啓蒙するとともに、公益活動への関心を高めるため下記の媒体を使用し、活動内容を広く訴えました。</li> <li>・新聞広告の掲載、ラジオでの呼びかけ。</li> <li>・ホームページの充実、その他チラシなどの制作。</li> <li>・会報「善銀だより」の発行。</li> </ul>	
--	--

## 2、[組織運営]

- ・総会、理事会、運営委員会等に関する事項

### ① 総会

- ・定時総会の開催は、6 月に開催。

### ② 理事会

- ・定時理事会の開催は、4 カ月を超える間隔で 2 回以上開催しました。
- ・臨時理事会の開催は、定款 14 条のいずれかに該当する場合に開催。  
(24 年度は開催なし)

### ③ 運営委員会

- ・運営委員会は、効果的な事業の推進を図ることを目的に、各種事業の整理・調整を行うため、平成 24 年の 5 月・7 月・9 月・11 月・12 月と平成 25 年 2 月・3 月の計 7 回開催しました。

#### ④ 同種活動団体との連携

- ・全国善意銀行連絡協議会が行う 7 月の総会や 11 月の理事会に参加し、情報の共有や活動の参考にしました。
- ・県社会福祉協議会等の他団体と年に数回の会合を持ち、「ボランティア活動日本一」の運動推進や情報交換を図りました。

### 3、[その他]

#### ① 創立 50 周年記念事業

- ・今期は、社団法人から「公益社団法人」へ移行し、節目の年となりました。さらに、平成 25 年 3 月には創立 50 周年を迎えました。当行が半世紀に及ぶ長い間活動が出来ましたのは、善意の預託者や当行を支えていただいた会員の皆様など多数の温かい支援のおかげです。そこでその歩みや将来のため 50 周年記念誌の発行準備を行いました。また、これまで当行を支えていただいた多数の預託者（団体・個人）や会員の皆様へ感謝状の贈呈式も検討しております。

#### ② 預託や新規会員の拡充

- ・公益法人のメリット、優遇税制などを PR すると共に、企業・個人からの預託は新聞・ラジオのほか携帯サイトを含むホームページからも見るすることができます。新規会員は、前記 PR の活用と機関紙、チラシ等でも勧誘を図っています。

#### ③ ボランティア団体等の拡充

- ・ボランティア希望者は、当行のホームページに登録、社会福祉施設などで活動できるシステムを構築し運用していきます。また、現在、約 25 の団体・個人が年間を通じてボランティア奉仕活動をしています。当行はその活動を新聞やホームページで紹介し、新規活動者の拡充にも取り組みました。

# 平成24年度「物品の預託と払出し」報告

平成24年4月1日～平成25年3月31日

預託する団体・人	預託(払出)物品	払出先
県茶商業協同組合	新茶8キロ	老人施設くわのみ荘など8施設へ
千代の園酒造	清酒「百歳万歳」480本	24年度百歳到達者
浜口稔幸	健康靴26足	御所浦苑などへ
生田製茶工場	お茶18キロ	三和荘など5施設
熊本そば名店会	天ざるそば手打ち実演100食	大江学園へ
マルシヨク	リンゴ40個入り100箱	阿蘇みやま荘など50施設へ
高橋稲荷神社	果物・お菓子(ご神饌)10箱	水清庵など2施設へ
中央ゴルフ	おもちゃ類300点	八代ナザレ園など10施設へ
九州電保労熊本本部青年委員会など	紅白餅200個	第二峯山寮など2施設へ
興農園	花の球根5,200球	天草整枝園など27施設へ
熊日広告局営業企画部	ペンケースなど	県母子寡婦福祉連合会へ
大江田寿之	ミニトマト50箱	野坂の浦荘など20施設へ
相良スミ	じゃがいも360キロ	阿蘇くんわの里など24施設へ
〃	サツマイモ60キロ	千草寮など6施設へ
田代友弘ほか4名	米・玄米240キロ	救護施設など8施設へ
米村芳雄ほか	洗剤27キロ	すみれ園など4施設へ
海平輝夫	花の種1箱	花原川を守る会へ
瑞鷹酒造ほか11名	未使用切手約3万円分	交換して公益目的事業に
花園公民館自治会など	未使用はがき260枚	交換して公益目的事業に
預託回数のおよそ210件	使用済み切手100キロ	換金し、福祉資金へ
熊本善意銀行	毛布 112枚	火災見舞いとして35世帯へ

## 平成24年度「ボランティア奉仕」報告

平成24年4月1日～平成25年3月31日

奉仕する団体・人	ボランティアの種類	回数	奉仕先
熊本奇術クラブ(熊本市)	マジック披露	3	龍山学園など
ブードル&Piero(熊本市)	〃	7	うすま苑など
フーちゃんとおごひげのおじさん(熊本市)	〃	23	黒髪しょうぶ苑など
ボランティア歌舞団ひまわり(熊本市)	演芸奉仕	11	愛・ライフ内牧など
ボランティアグループ和会(熊本市)	〃	99	るり苑など
藤乃流由友会(菊池郡)	〃	107	介護老人保健施設阿房宮など
菊陽さくら会(菊池郡)	〃	64	長寿苑そよかぜシュートステイなど
藤扇城北福祉会(玉名市)	〃	322	玉名市きぼうの家など
肥後ちょんかけごま保存会(熊本市)	〃	5	力合つくし庵など
熊本市お笑い愛好会(熊本市)	〃	2	泗水苑老人ホームなど
城西ひよっこ愛笑会	〃	1	デイサービスあやめの里
菊踊会(玉名市)	〃	316	玉名市障がい者虹の会など
中村ファミリー(熊本市)	民謡	18	華月園松橋7区老人会など
タレント&タラント(熊本市)	大道芸	2	昭孝園黒髪ステーションなど
明日香会(熊本市)	〃	31	熊本市はなぞの学苑など
磯野功(山鹿市)	理容奉仕	10	チブサン荘
ハレルヤ笑いヨガくらぶ(熊本市)	健康体操	1	和水町社会福祉協議会
ブア・ケニケニ(熊本市)	フラダンス	2	新屋敷ふく夏まつりなど
芳睦流舞踊研究会(熊本市)	日本舞踊	1	コムーネ黒髪
山部美郷(熊本市)	津軽三味線披露	4	山本小学校での敬老会など
スチールギター愛好会(熊本市)	スチールギター演奏	18	ユーパレス弁天など
ロゴス腹話術研究会熊本支部(熊本市)	腹話術	9	たんぼぼ保育園など
九州電保労青年委員会(熊本市)	高所作業	1	明生園
田上松子(熊本市)	講演	2	塩屋かたろう会など
渡漣匿名(熊本市)他2名	使用済み切手整理	74	換金の為、大きさを整理
合 計		1,133	